

鶴ヶ島の自然の恵み

鶴ヶ島市民の森の野草・樹木調査



2018年1月

特定非営利活動法人
つるがしま里山サポートクラブ



門松づくり



市内の河川の魚類調査

はじめに

NPO法人つるがしま里山サポートクラブは、「みどりと川の再生」に取り組んでいます。市民のみなさんに里山の大切さを理解していただくため、市民の森の植物調査に取り組み植物図鑑を作成しました。この冊子が市民の森や、小川の清掃活動を通じ、自然の奥深さや多様性に気づくきっかけになることを願っています。

高倉市民の森植物調査

①趣旨:植物調査は、昨年に引き続き高倉市民の森（8ha）における現存植物の調査を行い、貴重種、外来植物、食べられる植物、危険な植物などを整理する。

②時期:四季の植物を調査する。

この調査は埼玉県NPO活動促進助成事業の助成により実現したものです。調査に参加された会員、市民の皆様、関係各位に感謝いたします。

2018年1月

NPO法人つるがしま里山サポートクラブ

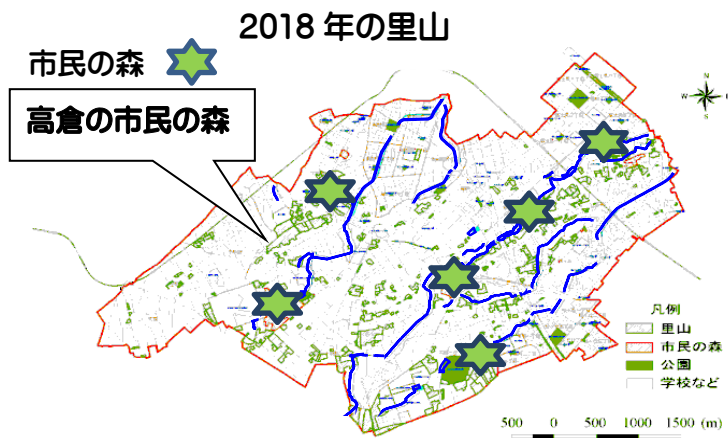
目次

1. はじめに	1
2. 里山の樹木・草木類調査	2
3. 野草編	3
3. 樹木編	38
4. 野草・樹木観察の基礎用語	57
5. 索引	58
6. NPO 法人つるがしま里山サポートクラブの活動	61

2.里山の樹木・草木類調査

1 里山の植物調査について

- NPO 法人つるがしま里山サポートクラブは、次の世代である子供たちに里山を残すことを目的とし、2002 年の設立以来、市内の里山の保全活動を続けています。
- 1965 年～75 年代(昭和 40 年～50 年頃)の高度経済成長期、鶴ヶ島の里山は宅地開発の対象となり、1966 年から約 30 年間で262haが消失し、現在は132haと1/3となっていました。こうした激変の中、鶴ヶ島市は、市民緑地制度を活用し、「市民の森」として6ヶ所、13.8haの緑を確保しています。NPO 法人つるがしま里山サポートクラブは、このうち3ヶ所の市民の森の維持活動をしています。



- 調査対象の高倉市民の森は、8.4haの里山・樹林地であり、鶴ヶ島市内で最も大きな自然が残る場所で、自然の生態系をそのまま目に見ることができる貴重な場所となっています。



ヘクソカズラ

漢字：屁糞葛

(つる性) (食)

科： アカネ

属： ヘクソカズラ

開花時期： 8月上旬～9月下旬

日本全土のいたるところで見られ、多年草のつる草で庭木や公園のフェンス等に絡みつき傷をつけると不愉快な臭気を発するので嫌がられるが、茹でたりして加熱するとこの周期はなくなり、おひたしや様々な和え物に利用できる。



オオアラセイトウ

漢字： 大紫羅欄花

科： アブラナ

属： オオアラセイトウ

開花時期 ： 3月上旬～5月下旬

日本全土に分布し、別名ハナダイコン、ショカツサイ
原産は中国で越年草。花色は紫から薄紫で個体差があり、全株食用
になる。おひたしやみそ汁の具材、ゴマよごし等オオ用は広い。



イワタバコ

漢字：岩煙草

科： イワタバコ

属： イワタバコ

開花時期 ： 6月上旬～9月下旬

イワタバコは日本各地の日当たりの悪い湿った岩や崖に生える多年草です。地下に塊状の根茎があり、長さ 5～20cm の葉を数枚出して垂らします。葉は柔らかくて水っぽく、光沢があります。6月から8月に花茎を伸ばし、星形で花径 2cm 前後の花を多数咲かせます。花つきは非常によいのですが、1 輪の寿命が 3～4 日なのが残念です。冬は、葉のつけ根に根茎と来年の葉が塊状になったものを残して枯れてしまいます。葉は山菜としても利用されています。



クサソテツ

漢字：草蘇鉄

(食) 科： イワテンダ 属： クサソテツ

開花時期 ： 3月上旬～5月下旬

食べられるシダ 別名：ムラサキコゴミ

食べられるとはいうもののシダの仲間であるのでアクが強く、アク出しを十分にした方が良い。コゴミ、ゼンマイ、ワラビ等食べられるものでもシダ類の持つシュウ酸は人体に有毒であって、発がん性の高いものとされている。あまり、多量に食さない方がよからう。



アマチャズル

漢字：甘茶蔓

科： ウリ

属： アマチャズル

開花時期： 8月上旬～9月下旬

葉の形は一見ヤブガラシに似るが、厚みが薄く、より柔らかい。

半日蔭の林中、及び野原のふち等に多く見られ、ツル性で他の植物に絡みつき、秋に黒紫の小果実をつける。茎、葉、及び果実は生食するとわずかに甘みがある。味に癖がないので酢の物、おひたし、天ぷら等様々な和え物で楽しめる。特にアマチャズル茶は有名である。



ムラサキカタバミ

漢字： 紫片喰

科： カタバミ

属： カタバミ

開花時期 ： 6月上旬～10月下旬

別称ハナカタバミ。花色は紫～薄ピンクまで多品種があり、南アメリカが原産。庭や公園に普通に見られる多年草。

わが国では関東北部以西に多く、カタバミ属の中では大型の部類



オニタビラコ

漢字：鬼田平子

(食) 科： キク

属： オニタビラコ

開花時期： 5月上旬～10月下旬

日本全土の至る所で見られ、茎は葉を取ると白い液が流れる。
これをなめると苦いが、春の七草(ホトケノザ)として食用とされる。この
苦みは過熱すると消える。



キツネアザミ

漢字：狐薊

(食) 科：キク

属：キツネアザミ

開花時期：5月上旬～6月下旬

分布は日本全土の野原、浅い山地、田畑のあぜ道に普通に見られる。春先の若葉は、天ぷら、餅に入れたりして食用となる。

草丈は 50～120 cm程になる越年草。



セイヨウタンポポ

漢字：西洋蒲公英

(食) 科： キク

属： タンポポ

開花時期 : 3月上旬～9月下旬

ヨーロッパからの帰化植物で、道端、野原等いたるところで勢力を広げている。食用となるところは全体に及び、葉、茎、花は天ぷら、各種和え物、サラダ、根はお茶として利用される。

近年、シャバナノセイヨウタンポポも本種にまじり、分布を広げている。食用としての利用部分は全種と同様。



ハルシオン

漢字：春紫苑

(食) 科： キク

属： ムカシヨモギ

開花時期： 4月上旬～5月下旬

別名ハルジオン、貧乏草。原産は北アメリカ。帰化植物で近似のヒメジオンがある。ハルシオンの花期が4から5月で幾分花の外側が薄紅色を帯びるのに対し、ヒメジオンは6～10月で花色は白。いずれも日本全土の野原、道端等いたるところで見られ、葉も花も食用になる。



ヒメジオン

漢字：姫女苑

(食) 科： キク

属： ムカシヨモギ

開花時期： 6月上旬～11月下旬

近似種のハルジオンと同様、全株食用となり、天ぷらにすればキク科植物同様の香りと香ばしさが楽しめる。

日本全土に分布し、アメリカからの帰化植物。



ガガイモ

漢字：蘿摩

(食) 科： ガガイモ

属： ガガイモ

開花時期 ： 8月上旬～8月下旬

近年の地球温暖化により、分布を北に伸ばしているものの一種で、カモメツル、キジョラン、イケマ等近縁種を含めて食用になる。天ぷら等は甘みもあって美味である。葉、茎を傷つくと、白色のイチジクに似た粘液が出る。元来、暖地性であるが、現今関東地方をはるかに超えて北上中で北海道まで分布しているツル性の多年草。



セリバヒエンソウ

漢字：芹葉飛燕草

(毒) 科：キンポウゲ 属：ヒエンソウ

開花時期：4月上旬～5月下旬

別名セリバノヒエンソウ

古い図鑑には記載がないから、近年、中国から移入したものと思われる。セリの葉によく似たところでこの名があるが、キンポウゲ科に属するため、筆者自ら食したことがない。食べると下痢に伴う多少の腹痛？があるかもしれない。いずれにしても食用には不向きである。



ムラサキキケマン

漢字：紫華鬘

(毒) 科： ケシ

属： キケマン

開花時期 ： 4月上旬～6月下旬

日本全土の半日蔭、日当たりのよい山路、平地に分布し、有毒。

果実は黒色で熟するとホウセンカのように種を弾き飛ばす。

夏の終わり頃から秋には地上部は姿を消し、冬の終わり頃小さな新芽を伸ばすが、北方や雪の多い地方では雪解けを待って出現する。



タケニグサ

漢字：竹似草

科： ケシ

属： タケニグサ

開花時期 ： 7月上旬～8月下旬

別名ウシゴロシ(牛殺し)の如く有毒植物

大きい葉の裏側は白色で花が「竹の花」に似ているところからこの名がある。日本全土至る所ではびこり、時に背丈が2mにもおよぶ。茎を切るとオレンジ色に液が出てこれを水虫の幹部に塗るとよいとは聞いたことがあるが、(?)葉や茎の益が付いた手は速やかに洗ったほうが良い。



サギゴケ

漢字：鷺苔

科：ゴマノハグサ

属：サギゴケ

開花時期：4月上旬～5月下旬

別名サギシバ、ムラサキサギゴケの1品種

ムラサキサギゴケは赤紫色の花をつけるのに対し、本品種は白色の花をつける。近似種にトキワハゼがあるが、これは横に這う枝状のツルを出さない。共に食べられるが、特別美味ではない。



ヒメオドリコソウ

漢字：姫踊子草

(食) 科： シソ

属： オドリコソウ

開花時期： 4月上旬～5月下旬

ヨーロッパ原産の越年草で半日蔭～陽当たりのよい草原に群生し、ピンクの花は可憐で美しい。茎から葉、花は薄甘くて天ぷらで美味。



ホトケノザ

漢字： 仏の座

(食) 科： シソ

属： オドリコソウ

開花時期 : 3月上旬～6月下旬

別名サンガイグサ。北アフリカ～ヨーロッパ、東アジアに広く分布し、日本全土に生育する。春～初夏の頃、全株食用になり、料理の幅も広い。街路～原野～低山地等いたるところで見られ、春の七草のホトケノザとは別種で、七草の方のホトケノザは正しくはコオニタビラコ(キク科)という。念のため。



カキドオシ

漢字：垣通し

科： シソ

属： カキドオシ

開花時期 ： 4月上旬～5月下旬

名の通り垣根を越えて広がるので庭下草としては嫌われる。

葉、茎を傷つけると、不愉快な臭気を発するが、加熱すると臭気はなくなり、和え物、天ぷら等食用になる。小児の癰に利くとして古来用いられ、カントリソウの別称はこの意によるもの。日本全土に普通に見られる。



ノダケ

漢字：野竹

科： セリ

属： シシウド

開花時期 ： 9月上旬～11月下旬

山野の半日蔭～陽当たりのよい場所に見られる多年草で普通種。
果実はカレーに似た香りがあり、筆者はまだ食べたことがない。
セリ科の植物には危険な毒草が多いので要注意。



ヤブジラミ

漢字：藪虱

科： セリ

属： ヤブジラミ

開花時期 ： 5月上旬～7月下旬

日本全土の野原、低山地に分布し、果実は緑色、完熟すると茶色となり、卵型の楕円形で動物～われわれ人間のズボンの裾等に付着して種子を散らす。草高は 30～90 cmに達する。無毒で食べられないことはない。



ゼンマイ

漢字：撥条

(食) 科：ゼンマイ 属：ゼンマイ

開花時期：4月上旬～6月下旬

主に山地に分布するが、所によっては平地にも生育する。

シダ類の多くは通常不食であり、株に含まれる硝酸は人類にとって好ましくなく、多く発がん物質となり、極めて危険。

ゼンマイ始めワラビ、コゴミ等美味ではあるがきちんと硝酸処理をしなければ食べてはいけない。



ギシギシ

漢字：要諦

(食) 科： タテ

属： ギシギシ

開花時期 ： 6月上旬～8月下旬

春、幼葉の頃、茎共に食用となる。各種和え物、おひたし等、利用範囲は広い。日本全土に分布し、田んぼのあぜ道、野原、荒地等いたるところで目にする。



ウシハコベ

漢字：牛繁縷

(食) 科： ナデシコ 属： ハコベ

開花時期 ： 4月上旬～10月下旬

日本全土の山野に見られる多年草で、若いうちは食用になり、全くクセがないので、おひたし、胡麻和え、サラダ等利用の幅は広い。茎は2～60 cmにもなり、夏の頃になると、茎の部分は固くなるので少し食べにくい。



キジムシロ

漢字： 雑草

科： バラ

属： キジムシロ

開花時期 ： 4 月上旬～8 月中旬

日本全土に分布し、中山間部から平地に見られる。
ランナーを伸ばし、地表面を這うように生育する。



ヘビイチゴ

漢字：蛇莓

(食) 科：バラ

属：ヘビイチゴ

開花時期：4月上旬～6月下旬

日本全土に分布し、浅い山地～平地にある多年草。
果実は無毒で食用になるが、おいしくはない。



ヒルガオ

漢字： 昼顔

(食) 科： ヒルガオ 属： ヒルガオ

開花時期 ： 6月上旬～8月下旬

日本全土に見られるツル性の多年草。

別名はハタケアサガオ、アメフリバナ、チョクバナ、カツポウ等地方によって呼び名があって、若葉は食用になり、煎じて利尿薬として用いられる。花がよく似たアサガオハ弱い毒性があるので要注意。



シロツメクサ

漢字：白詰草

科： マメ

属： シャジクソウ

開花時期： 4月上旬～12月下旬

クローバーのこと。通常、葉は3葉からなるが、時に4葉のものがあり、幸運を呼ぶ四葉のクローバーと称し、珍重される。

北アフリカ～ヨーロッパ地方原産の多年草で多くは葉に白色の斑点が現れるが、中には無斑のものもある。



カラスノエンドウ

漢字：烏野豌豆

(食) 科： マメ

属： ソラマメ

開花時期 ： 3月上旬～6月下旬

別名ヤハズノエンドウ。日本全土の浅い山地から平地のいたるところで目にする。茎、葉はもとより、若い果実は食用となり、草全体の味にクセはなく、天ぷら、おひたし、各種和え物、酢の物、サラダ等利用範囲は広く、近似のスズノエンドウも同様。



ヨウシュヤマゴボウ

漢字：洋種山牛蒡

科： ヤマゴボウ

属： ヤマゴボウ

開花時期 ： 6 月上旬～9 月下旬

近似のヤマゴボウ、マルミノヤマゴボウ(関東以西)と共に弱い毒性を疑われている。ほぼ日本全土に分布し、根がゴボウ(キク科)状を呈するのでこの名がある。ヤマゴボウの漬物として売られているものは、ヤマゴボウの根ではなく、キク科のマアザミの根であるので間違えてはいけない。要注意である。



ホウチャクソウ

漢字： 宝鐸草

(毒) 科： ユリ

属： チゴユリ

開花時期

日本全土に分布し、花の形が五重塔、寺院の軒下につけられている宝鐸に似ていることからこの名がある。

全株有毒で、ユリ科、ナス科、ケシ科には有毒なものが多いので気をつけないといけない。



チゴユリ

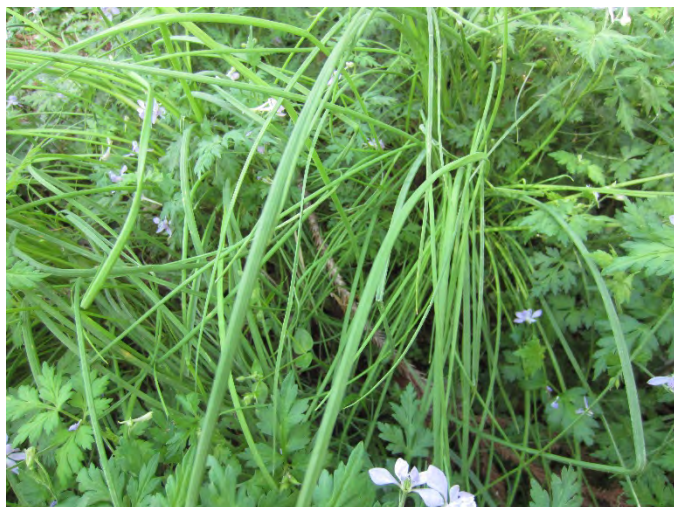
漢字：稚児百合

科： ユリ

属： チゴユリ

開花時期： 4月上旬～6月下旬

山地の半日蔭又は明るい林内の下草として多くは群生する。
日本全土に分布し、草丈 15～20 cmほどでやや下向きに純白な小花は可愛い。食毒は不明であるが、ユリ科のものは猛毒なものが多くあり、食用になる種も多いが、未だ試したことがない。



ノビル

漢字： 野蒜

(食) 科： ユリ

属： ネギ

開花時期 ： 5月上旬～6月下旬

日本全土の人里、山野に普通に見られる多年草。

葉は刻んで卵焼き等、根の元のラッキョウに似た部分は生食できる。



サイハイラン

漢字：采配蘭

〔食〕 科： ラン

属： サイハイラン

開花時期 ： 5月上旬～6月下旬

日本全土に広く分布し、多くは山地の林内に点在、生育するが、せいぜい6～10株程で大群落は形成しない。花は少し甘みがあって、天ぷらでは食べたことがあるが、葉は食べにくい。

シュンラン、コチョウラン、シンビジュウム等の花は甘くて美味。



シダ植物

漢字:

科:

属:

開花時期 : 月上旬～月下旬

シダ植物は、マツバラン類・ヒカゲノカズラ類・トクサ類・シダ類の 4 群から構成され、103 種ある。



ウコギ

漢字：五加木

(食) 科： ウコギ 属： ウコギ

開花時期 ： 7 月上旬～8 月下旬

春の食用 幹にとげがあり、防犯用生垣に
別名ヤマウコギ、オニウコギともいわれ、枝には鋭いとげを持つ。
果実は鳥の餌となり、若葉は食用になる。
本州以北に分布し、熟した果実は焼酎に漬けるとよい。



キツタ

漢字：木蔦

(つる) 科： ウコギ

属： キツタ

(食) 開花時期 ： 10 月上旬～12 月下旬

若芽は天ぷらがいいが、秋、紅葉した葉上にキノコ類の煮つけを盛るのもしゃれている。多くは樹木、フェンスなどからみつく。庭木等からみつくと厄介である。



タラノキ

漢字： 櫨の木

(食) 科： ウコギ 属： タラノキ
(葉) 開花時期 ： 8月上旬～9月下旬

陽当たりのよい山野を好み、高さは3～5mにも及ぶ。
幹、枝、葉には鋭いとげを有するが、器具材として用いられる。
樹皮は薬として使用され日本全土に分布する。春先の新芽は天ぷらで
美味である。



ウルシ

漢字：漆

科： ウルシ

属： ウルシ

開花時期 ： 6 月上旬～6 月下旬

樹高は 15mにもなり、ヒマラヤ、中国が原産の樹であるが、わが国ではほぼ全域に分布し、樹皮からはロウソクのロウが取れ、樹液は工芸細工の原料となる。春先の新芽は食べられるというが、よした方が良だろう。ヤマウルシ、ハゼノキ等と同様、多くの人はかぶれるので近づかないほうがいい。



エゴノキ

漢字：エゴノキ

(毒) 科：エゴノキ 属：エゴノキ

開花時期：5月上旬～6月下旬

北海道、日高地区以南の日本全土、中国、朝鮮、フィリピンにかけて広く分布し、特に果実には毒があり、川の上流で木の実をつぶして水に混ぜると、近くの魚類等がマヒして浮き上がり、こうした漁法があると聞く。樹質が固く、木工芸に利用される。



クワ

漢字：桑

(食) 科：クワ

属：クワ

開花時期：4月上旬～4月下旬

別名ヤマグワ。ヒマラヤ以東の北部アジアから樺太に亘り分布。
建築、家具、仏壇等に利用され、カイコの食樹として有名。
新芽の若葉は食用となり、血圧等ヘルシーな用途としても人気が高い。果実は生食のほか、ジャム等にしてヨーグルトと混ぜると絶妙である。古木ともなればアラゲキクラゲ、ヒラタケ、エノキダケ等キノコ類が寄生する。



ニワウルシ

漢字：庭漆

科：ニガキ

属：ニワウルシ

開花時期：6月上旬～6月下旬

別名シンジュ。中国中北部原産の高木、20m 程の高さになり、枝葉を折ったりすると、嫌なにおいを出す。庭木、街路樹等に利用されるが、成長が早く、樹質は軟弱で工作しやすい。



ツルウメモドキ

漢字：蔓梅擬き

(つる)

科： ニシキギ

属： ツルウメモドキ

開花時期 ： 5 月上旬～6 月下旬

秋に房状の赤色果実をつけ、その美しさから庭木、生花に広く使用される。オニツルウメモドキ、テリハウメモドキ、オオツルウメモドキ等近似種がある。



マユミ

漢字：真弓

科： ニシキギ

属： ニシキギ

開花時期 ： 5月上旬～6月下旬

沖縄を除く日本全土、朝鮮南部、中国、北は樺太に分布。

庭木、盆栽等に人気が高く、また、玩具などの小型工芸品に加工される。樹高は15mくらいになり、多くは山野に自生する。

昔はこの木で弓をつくっていた。



ボケ

漢字：木瓜

科：バラ

属：ボケ

開花時期：3月上旬～4月下旬

中国原産で庭木、盆栽、花材として利用されるが、一部は野生化している。果実にはシドミと呼ばれ、酸っぱいが喉の渇きをいやすには好ましい。少し渋みがあって焼酎に漬けるとよい。



エビツル

漢字：蝦蟇

(つる)

科：ブドウ

属：ブドウ

(食)

開花時期：6月上旬～8月下旬

葉の裏面には銀白色の短毛を密に装い白色に見えるので、通常不食のノブドウと区別できる。果実は酸味が強く、ジャム、あるいは焼酎漬けとして楽しめるばかりでなく、春の新芽は天ぷらが美味である。



ノブドウ

漢字：野葡萄

(つる)

科： ブドウ

属： ブドウ

開花時期 ： 7月上旬～8月下旬

ヤマブドウ、エビズルに似ているが、葉の裏面は無毛、緑色で、秋にはブドウ状の果実をつけるが、その房に白、緑、紺、黄等混在するのが特徴。ヤマブドウ、エビズルは葉の裏面には銀白色の短毛を装い、白っぽく見えるので見分けはしやすい。この2種は食用とされるが、ノブドウは通常不食、下痢を引き起こすことがある。



コナラ

漢字：小櫟

(食) 科：ブナ

属：コナラ

開花時期：4月上旬～5月下旬

シイタケの原木用として多くは用いられているが、昨今地球温暖化が進むと同時に、関東一帯の平地林では近年、少しずつ元気を失いつつある種の一つ。埼玉県下では標高 1000m を境にミズナラとコナラが住み分けていて、シラカバが中に点在し始めると辺りはコナラに代わってミズナラが主役になる。



カラスサンショウ

漢字：烏山椒

科： ミカン

属： サンショウ

開花時期 ： 7 月上旬～8 月下旬

全体に鋭いとげを有し、別名、アコウザンショウという。

今から 60 年ほど前は三浦半島辺りから西南地方に多かったが、現在は群馬県南部辺りまで分布を広げている。

海外では東部熱帯地方に多く見られ、本種とイヌザンショウとの種間雑種をコカラスザンショウという。



イヌザンショウ

漢字：犬山椒

科： ミカン

属： ミカン

開花時期 ： 7月上旬～8月下旬

植物の前にイヌ、カラス等の動物の名前が付されている場合は、物の役に立たないという意味があつて、このイヌザンショウも例外でなく、山椒に対して食用にはならないからということである。サンショウに対して香りも劣る。北海道を除く、ほぼ日本全土に分布し、国外では朝鮮、中国に分布する。



ミズキ

漢字：水木

科： ミズキ

属： ミズキ

開花時期 ： 5月上旬～6月下旬

樹木全体に白い花が咲く。

ミズキの名のとおり、水分の多い場所を好む。花は蝶・蛾に密を与え、果実は野鳥の餌となる。

古来、庭木として東北アジア地方より移されたが、今は日本全土に野生化している。若葉は食べられるが、さほど美味とはいえない。



ホオノキ

漢字：朴の木

(食) 科： モクレン 属： モクレン

(薬) 開花時期 ： 5月上旬～6月下旬

食物を包む材料として活用。

若葉は食用となるが少々渋みがある。日本全土及び朝鮮半島、中国東部に分布するが、近頃の温暖化により分布を北に広げつつある。

樹皮は薬用とし、庭木にも用いられるが、30mにも及ぶ樹高はよほど広い庭でないと不可。様々な工芸用として利用される。



コブシ

漢字：辛夷

科： モクレン

属： モクレン

開花時期 ： 3月上旬～3月下旬

別名、コブシハミガキ、ヤマアラギ。落葉高木で 20m 程になる。

接ぎ木の台木や多くの工芸品加工用として利用される。

日本全土から朝鮮半島に分布し、春、葉の出る前にたくさんの白花を枝一面に咲かせる。



イヌツゲ

漢字：犬黄楊

科：モチノキ

属：モチノキ

開花時期：6月上旬～7月下旬

ツゲよりも劣るということで犬がついている。

庭木、盆栽等に利用されるが、今は広く野生化し、日本全土に分布している。ツゲは良質なクシに加工されるが、このイヌツゲは主に工芸用として使用される。

樹木・草木観察の基礎知識

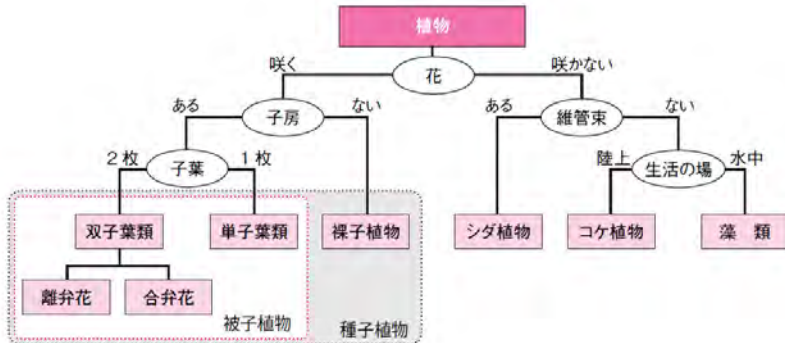
種子植物(被子植物と裸子植物), シダ植物, コケ植物, 藻類。これらの植物はすべて葉緑 体をもち光合成を行う点で共通している。

種子植物

花を咲かせ, 種子でなかまをふやす植物を種子植物という。種子植物は花のつくりの違いから大きく被子植物と裸子植物に分類される。

被子植物

陸上植物の種の約 9 割が被子植物である。胚珠は種子に変化する大切なつくり。それが子房 でおおわれて, 乾燥などから守られている。陸上での生活により適したつくりになっている。被子植物は, 芽生えのようすから単子葉類と双子葉類とに分類される。



1

花が咲く
種子植物

- 子房がある
 - 双子葉類: アサガオ、ツツジ、アブラナ、ホウセンカなど
 - 単子葉類: イネ、トウモロコシ、百合、チューリップなど
- 子房がない
 - 裸子植物: マツ、トウモロコシ、ユリ、チューリップなど

花が咲かない植物 シダ、コケ、藻、菌、細菌類

¹ <https://www.bunshun.co.jp/book/gakuryoku/pdf/rika02/p33-37.pdf>

索引

区分	名前	科	属	漢字	Page NO
草木	アマチャズル	ウリ	アマチャズル	甘茶蔓	5
草木	イワタバコ	イワタバコ	イワタバコ	岩煙草	3
草木	ウシハコベ	ナデシコ	ハコベ	牛繁縷	24
草木	オオアラセイトウ	アブラナ	オオアラセイトウ	大紫羅欄花	2
草木	オニタビラコ	キク	オニタビラコ	鬼田平子	7
草木	ガガイモ	キョウチクトウ	ガガイモ	蘿摩	12
草木	カキトオシ	シソ	カキトオシ	垣通し	19
草木	カラスノエンドウ	マメ	ソラマメ	烏野豌豆	29
草木	ギンギシ	タテ	ギンギシ	要諦	23
草木	キジムシロ	バラ	キジムシロ	雉筵	25
草木	キツネアザミ	キク	キツネアザミ	狐薊	8
草木	クサソテツ	イワテンダ	クサソテツ	草蘇鉄	4
草木	サイハイラン	ラン	サイハイラン	采配蘭	34
草木	サギゴケ	ゴマノハグサ	サギゴケ	鷺苔	16
草木	シダ植物				35
草木	シロツメクサ	マメ	シャジクソウ	白詰草	28
草木	セイヨウタンポポ	キク	タンポポ	西洋蒲公英	9
草木	セリバヒエンソウ	キンポウゲ	ヒエンソウ	芹葉飛燕草	13
草木	ゼンマイ	ゼンマイ	ゼンマイ	撥条	22
草木	タケニグサ	ケシ	タケニグサ	竹似草	15
草木	チゴユリ	ユリ	チゴユリ	稚児百合	32
草木	ノダケ	セリ	シシウド	野竹	20
草木	ノビル	ユリ	ネギ	野蒜	33
草木	ハルシオン	キク	ムカシヨモギ	春紫苑	10
草木	ヒメオドリコソウ	シソ	オドリコソウ	姫踊子草	17
草木	ヒメジオン	キク	ムカシヨモギ	姫女苑	11
草木	ヒルガオ	ヒルガオ	ヒルガオ	昼顔	27
草木	ヘクソカズラ	アカネ	ヘクソカズラ	屈糞葛	1
草木	ヘビイチゴ	バラ	ヘビイチゴ	蛇莓	26
草木	ホウチャクソウ	ユリ	チゴユリ	宝鐸草	31
草木	ホトケノザ	シソ	オドリコソウ	仏の座	18

区分	名前	科	属	漢字	Page NO
草木	ムラサキカタバミ	カタバミ	カタバミ	花片喰	6
草木	ムラサキキケマン	ケシ	キケマン	紫華鬘	14
草木	ヤブジラミ	セリ	ヤブニンジン	藪人參	21
草木	ヨウシュヤマゴボウ	ヤマゴボウ	ヤマゴボウ	洋種山牛蒡	30
樹木	イヌザンショウ	ミカン	サンショウ	犬山椒	50
樹木	イヌツゲ	モチノキ	モチノキ	犬黄楊	54
樹木	ウコギ	ウコギ	ウコギ	五加木	36
樹木	ウルシ	ウルシ	ウルシ	漆	39
樹木	エゴノキ	エゴノキ	エゴノキ	エゴノキ	40
樹木	エビヅル	ブドウ	ブドウ	蝦蟇	46
樹木	カラスサンショウ	ミカン	サンショウ	烏山椒	49
樹木	キツタ	ウコギ	キツタ	木蔦	37
樹木	クワ	クワ	クワ	桑	41
樹木	コナラ	ブナ	コナラ	小櫨	48
樹木	コブシ	モクレン	モクレン	辛夷	53
樹木	タラノキ	ウコギ	タラノキ	櫨の木	38
樹木	ツルウメモドキ	ニシキギ	ツルウメモドキ	蔓梅擬き	43
樹木	ニワウルシ	ニガキ	ニワウルシ	庭漆	42
樹木	ノブドウ	ブドウ	ブドウ	野葡萄	47
樹木	ホオノキ	モクレン	モクレン	朴の木	52
樹木	ボケ	バラ	ボケ	木瓜	45
樹木	マユミ	ニシキギ	ニシキギ	真弓	44
樹木	ミズキ	ミズキ	ミズキ	水木	51

この冊子の分類、記述は、地元の里山の植物に目を向けていただけたら、という一心で作成したものです。したがって不明点や誤りについて気付かれましたら遠慮なくご指摘ください。

6.NPO法人 つるがしま里山サポートクラブの活動

里山の役割

近年の都市化の中で、里山は、自然の学習など子どもたちの環境教育の場や川遊び、クワガタ採り、蛍の観賞、キノコ栽培、プレイパークなど森林レクリエーションの場として活用されています。このように里山の各機能の特質を理解して、市民の森を大切にしていきたいものです。

里山の 9 つの機能

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| (1) 資源生産(木材生産・林産物栽培等) | (6) 大気浄化・緩衝緑地・避難空間 |
| (2) 水源涵養・水質浄化 | (7) 感性・創造力涵養・文化の継承の場 |
| (3) 土砂流出・崩壊防止 | (8) レクリエーション・交流の場 |
| (4) 野生生物の生息・生育環境 | (9) 環境学習の場 |
| (5) 都市微気候の緩和 | |

つるがしま里山クラブの活動

- 川と里山の保全活動:市民の森 6ヶ所 13.8ha のうち 3ヶ所 10ha の里山の維持・保全活動
- 市民活動団体との連携を図り、イベントの共催(親子劇場、学童クラブ、杉下自治会、自然を守る会、花咲く乙女座等)
- 多くの活動団体が里山クラブとの交流を通じて活動を開始
- 市民の森の活動

箇 所	活 動 内 容
高倉 6 号の森・飯盛川	飯盛川清流復活大作戦 今年で 28 回 市民活動団体との協働イベント 各種のイベントとホタルの復元、 オオムラサキの飼育
五味ヶ谷 5 号の森	子供たちとのイベント、自治会・市民活動団体との協働イベント
藤金 8 号の森	子供たちとのイベント、市民活動団体との協働イベント

NPO 法人 つるがしま里山サポートクラブの活動



子供たちのツリークライミング



里山の自然体験学習



著者：伊藤 和貴

監修：鈴木 勝行

編集：小沼 英二

発行：小澤 邦彦

NPO法人つるがしま里山サポートクラブ

<http://satoyamasupport.com/>